



10月5日(日)

①10:00～11:40 ②12:30～14:10 ③15:00～16:40

会場:エコストアパパラギ2階 予約:電話 0466-50-0117

メールでのご予約は
QRコードから



The Hague Movies that Matter
Festival2024 観客賞

CPH:DOX2024
人権賞ノミネート

Doc Edge Festival 2024

最優秀国際撮影賞

「理解の架け橋」部門 最優秀作品賞

憎しみの連鎖を
断つために

私は 憎まない

I S H A L L N O T H A T E

平和と人間の尊厳を追求するガザ出身医師の誓い

監督:タル・バルダ 制作:Filmoption 配給:ユナイテッドビープル
92分/カナダ・フランス/2024年/ドキュメンタリー ©Filmoption

3人の愛娘を殺されてもなお共存の可能性を信じ、ヒューマニティに基づき
行動するガザ地区出身の医師、アブラエーシュ博士に迫るドキュメンタリー

悲劇を真の平和の実現のために



医療でイスラエルとパレスチナの 分断に橋を架ける

ガザ地区の貧困地域、ジャバリヤ難民キャンプ出身の医師で、パレスチナ人としてイスラエルの病院で働く初の医師となったイゼルディン・アブラエーシュ博士は産婦人科でイスラエル人とパレスチナ人両方の赤ちゃんの誕生に携わってきた。「ユダヤ教徒、イスラム教徒、キリスト教徒の赤ちゃんの違いは？みんな同じく生まれたての赤ちゃんだ」と、共存が可能であることを自らの医療で表現してきた。彼は、ガザからイスラエルの病院に通いながら、病院で命が平等のように、外の世界でも同じく人々は平等であるべきだと、分断に医療で橋を架けようとする。しかし、両者の共存を誰よりも望んでいた彼の赦しと和解の精神が、究極の試練にさらされる。

暴力に暴力で対処しても 問題は解決しない

2009年1月、アブラエーシュ博士の自宅がイスラエル軍の戦車の砲撃を受け、3人の娘と姪が殺害されてしまうという悲劇が彼を襲う。砲撃直後、博士の涙の叫びの肉声はイスラエルのテレビ局で生放送され、イスラエル中に衝撃と共に伝わった。翌日、テレビカメラの前で、博士は突然憎しみではなく、共存について語りだす。その後、正義を求めてイスラエル政府を訴え、娘の死の責任を追求するも、決して復讐心や憎しみを持たない彼の赦しと和解の精神は、世界中の人々に感動を与え、数え切れないほどの賞を受賞し、“中東のガンジー、マンデラ、キング牧師”とも呼ばれる存在となる。自伝『それでも、私は憎まない』は世界的ベストセラーとなった。しかし、2023年10月7日のハマスのイスラエルへの攻撃、それ以降のガザへの攻撃を経て、彼の信念は再び試されることになる。



@Filmoption

もし、私の娘たちがパレスチナ人とイスラエル人の
平和への道のりの最後の犠牲なら、
私は娘たちの死を受け入れるだろう。

—— イゼルディン・アブラエーシュ博士

5度のノーベル平和賞ノミネート

私は憎まない

I SHALL NOT HATE

監督:タル・バルダ 脚本:タル・バルダ、ジェフ・クライン、サスキア・デ・ボア プロデューサー:ボール・カデュ、マリズ・ルイヤー、イザベル・グリッポン、タル・バルダ
製作総指揮:マヤ・カデュ、マルタン・カデュ、マリズ・ルイヤー
登場人物:イゼルディン・アブラエーシュ、クリスティアン・アマンブル、シュロミ・エルダー 他 制作:Filmoption 配給:ユナイテッドピープル
協力:JIM-NET、日本国際ボランティアセンター(JVC)、パレスチナ子どものキャンペーン、ピースボート 92分/カナダ・フランス/2024年/ドキュメンタリー

<https://unitedpeople.jp/ishall>



映画の上映会主催者募集!
詳しくは cinema.info へ
【お問合せ】 film@unitedpeople.jp



日時:10月5日(日) ①10時 ②12時半 ③15時 ※完全予約制

料金:一般1,300円 中・高・大学生1,000円 小学生以下無料

会場:エコストアパパラギ2階(神奈川県藤沢市鵠沼石上1-3-6)

ご予約:右記のQRコード、メール fujisawa@eco-papa.com、電話 0466-50-0117

主催:NPO法人気候危機対策ネットワーク 共催:エコストアパパラギ

ご予約

